

みみタロウ

日本語版 ☆ 133号 2019年10月

滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」
 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2F
 Tel: 077-523-5646 Fax: 077-510-0601
 E-mail: mimitaro@s-i-a.or.jp
 URL: http://www.s-i-a.or.jp
 https://www.facebook.com/siabiwako



失敗を怖れずに！

今回みみタロウは、ホテルに勤務されている安東ミズナさん（近江八幡市）にお話を伺いました。



私が日本に来たのは8年前、フィリピンで高校を卒業した17歳の時のことです。それまで私と妹は祖母に育てられていたので、ようやくと一緒に暮らせることになって嬉しくてたまりませんでした。

来日後は当時運営されていた外国人生徒のための学習教室「虹教室」に入りました。私は日本の学校制度ではまだ高校生の年齢だったため、日本語を学び高校受験に向けて勉強をしました。受験の面接での受け答えや、ドアの締め方、座り方などきちんとできるように何度も練習したことを思い出します。入学した清陵高校には沢山の外国人生徒がおり、日本語の教科もありました。私は「百円」がうまく発音ができなくて、先生に百回発音練習をさせられたのはいい思い出です。学友と簡単な会話しかできないので寂しい思いをしていたのですが、バトミントン部に入部すると友達ができ、とても楽しい学生生活になりました。友達は私の日本語を直してくれるので、私も一生懸命話しかけて言葉もどんどん上手になりました。清陵高校は単位制の高校なので、フィリピンで学習した単位が利用でき、2年で卒業し、その後京都外国語短期大学に進学して英語、ポルトガル語、スペイン語を学びました。そして県内のホテルに1年のアルバイト期間を経て就職し、今の語学を使ってフロントを担当しています。

私は人とのコミュニケーションが好きなので、自分に合った仕事につけて良かったと思います。勤めているホテルニューオウミは中規模なので、

フロントだけでなく、何でもこなすので、ホテル全体がわかって面白いです。たまにシャトルバスの運転手も務めるんですよ。お客様相手の仕事なので、言葉遣いやマナー、それに心配りが大切で、日本語教室や高校などで特訓を受けたことが役立っています。お客様は私が外国人だとわかると驚かれたり、褒めていただくこともありますが、私にとって難しかったのはやはり敬語です。日本語にもまだなまりがあるので、電話口で日本人に代わってくれ、と言われることもあります。でもそれも一つの経験で、失敗は自分の糧と考えています。少し落ち込みはしますが、次の日には必ず立ち直っていますよ。

もう一つ、職場で難しいのは人間関係ですが、これはどこにでもあることです。私は日系人ではないのですが、フィリピンでは日本人みたいな顔をしている、といじめに遭ってつらい思いをしています。残念ですが、嫌がらせをする人はどの国でもどこにでもいるもので、そういう人に出会ったら、この人はそういう人なんだ、と放っておくことにしてるんですよ。小さいころ、親から離れた辛さや乗り越えてきた経験は悪いことばかりではなく、私を強くしてくれたのかもしれない。

それと私も勉強が好きなお人ではありませんが、日本に来て、必死で頑張ったから、今の自分があるのだと思っています。私の祖国では、大勢の子供たちが貧しくて学校に行けないことを考えると、こうして自分が日本の学校で勉強できたことをとても幸運に思っています。そして、後輩の皆さんには、日本語の学習が難しいからと勉強を投げ出さず、せっかくのチャンスをあなたの夢につなげてほしいです。

